

学校教育目標	自・他を大切にし、心豊かに輝く子供の育成		
a ミッション	「オール因島南」で取り組む地域に誇れる学校づくりの実現 ・国語科の授業改善を中心とした学力向上 ・自己肯定感を向上させる積極的な生徒指導の推進	a ビジョン	「因島南小学校で学んでよかったと思える日本一の小学校の創造 最幸の学校に」 ・自・他を大切にできる学校 ・「静と動」の切り替えができる学校 ・地域とともに歩む学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 年度達成	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
					を達成	を達成				イ	ロ	ハ	
学びの基礎・基本の充実 基礎・基本の学力の定着と思考力・判断力・表現力の向上 学びに向かう姿勢の醸成 学校で学びたい 学校へ行きたい 自己肯定感の向上 生活の基礎・基本の充実	6年間安定して学ぶ授業スタイルを作る。 【教育研究部担当】 ○書く力を高める国語科の授業改善 ・因島南小授業スタイルの確立 ○国語科、学期のまとめテストにおける思考・判断・表現の平均得点率 ・80%以上 ○元気に学習を進めるための土台を作る。 【保健体育部】 ○学びに向かうための外遊びの充実 ・週に1回以上の外遊びを奨励 ○週に1回以上外遊びができる児童の割合 ・90%以上	80%	69.0%	90.7%	113.4%	A	・12月のまとめテストでは目標としていた得点率80%以上が達成できた。授業改善に取り組み、自分の考えを書くために、発問の仕方を工夫改善してきた成果と考えられる。児童は考えを交流することが楽しいと感じ、考えを書くことを楽しむ児童も増えてきていることが要因であると考えられる。	○	・4月からの取組の成果が出ていると思います。大変良かったと思います。 ・発問の精選を目指して「書く」ことにこだわり、4月から授業改善に取り組みましたが、児童の書く力の向上に繋がっていると思います。そのことが基礎・基本の学力の定着と思考力・判断力・表現力の更なる向上につながることを期待します。 ・授業スタイルの確立が成果として表れ大変評価します。公開授業でも児童の授業態度も立派でしたし、お互いの考えや意見を交流するなど、内容も工夫を凝らしてやる気を引き出していると感じました。因島南小の学力向上にも繋がっていると思います。	・引き続き、「書く」ことにこだわり、授業改善に取り組む。さらに互いの考えを広げたり深めたりさせるために、発問の精選に努めていく。また、日常的に叙述と関連付けて考えさせることで、国語科だけでなく他教科でも問われている内容について根拠を基に考える力を高めていく。			
	「静と動」を基盤とした学校生活を送る。 【生徒指導部】 規律ある集団生活を送るための取組 ・無言掃除の推進 ○無言掃除ができたと思える児童の割合 ・85%以上 毎日登校するための目標を与える。 【教務部】 ○登校意欲を高めるための取組 ・毎月皆勤賞による表彰を実施 ○皆勤児童の割合 ・80%以上 業務改善を推進する。 【教務部】 ○時間外勤務が45時間以下の教職員割合75%以上 ・提出物等の締め切りを明確にし、見通しがもてる業務の実施 ○時間外勤務が45時間以下の教職員割合 ・75%以上	85%	97.1%	99.3%	124.1%	A	・児童アンケートの結果、約9割以上の児童が無言掃除ができたと回答している。児童会と連携し、毎月の無言掃除表彰に加え、掃除名人カードの配付やぞうきん大会など、無言掃除によりよく取り組むことができるように、イベントを企画したことが結果につながったと考えている。	○	・表彰やイベントなどの企画は素晴らしいと思います。黒くなった雑巾で表彰するなんて、すごく楽しい企画で素晴らしいと思いました。 ・無言掃除が定着し素晴らしい達成度です。大変評価します。昨年の表彰やバッジ配布から名人カード、雑巾大会など、楽しい企画を工夫して取り組まれてきた成果です。	・児童会と連携し、定期的に企画を計画するなど、無言掃除への意識を高めていく。また、これまで行ってきた取組について見直すとともに、効果的であったものを継続していき、肯定的評価をすることで、無言掃除の質を高めていく。			
80%	84.0%	80.3%	100.3%	A	・毎月の皆勤児童の割合は、80%を超えている。毎月の皆勤児童を学級で紹介・掲示をしたり、2学期皆勤児童には賞状を授与したりするなどした。11月に、登校意欲を高めるための取組みとして、児童会主催で大縄跳び大会を計画実施した。大縄跳び大会が実施された11月は、他の月に比べて欠席児童数が減少し、児童の登校意欲を高めることにつながったと考えている。	○	・組織的、計画的な取り組みが児童を巻き込めることなく目的意識を持続させる結果につながっていると思います。さらなる児童の無言掃除の質の向上と定着に期待します。 ・「学び」「遊び」「友とのかかわり」何か一つ目的がもて、登校することに楽しみをもてる意図的な取組が登校への意欲づけになることに期待します。 ・昨年度に比べ大幅に改善されています。児童のためにも、こだわって頂きたい項目です。 ・個の努力、個の責任には限界があります。コミュニケーションと分担を徹底して頑張ってください。達成度は大いに評価いたします。	・児童会と連携して、全児童がかかわることができるレクリエーション企画を実行し、登校への更なる意欲付けをすることができた。皆勤児童の表彰と共に、登校意欲を高める多様な取組を提案していく。					
75%	96.7%	96.7%	128.9%	A	・毎月、目標値を達成することができた。業務の進捗状況を把握したり、各主任と打ち合わせて提出物等の締め切りを明確にしたりするなど、業務の優先順位が見えるようにした。	○	・各教職員の業務の進捗状況を把握し、業務を整理したり分担したりすることが、時間外勤務軽減につながっていると考えられる。部主事・主任等と打ち合わせや情報共有をしながら、提出物作成のスケジュール等を設定する。						

【自己評価 評価】
 A: 100≦(目標達成)
 B: 80≦(ほぼ達成) < 100
 C: 60≦(もう少し) < 80
 D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。ハ:わからない。